【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【公開番号】特開2007-248537(P2007-248537A)
【公開日】平成19年9月27日(2007.9.27)
【年通号数】公開・登録公報2007-037
【出願番号】特願2006-68362(P2006-68362)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/20　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/20　　５１０

【手続補正書】
【提出日】平成21年3月13日(2009.3.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
最外層がフルオロカーボンシロキサンゴムを含有する定着部材と、最外層にフッ素原子を有し、前記定着部材の前記最外層面に接触する接触部材と、加圧部材と、を有することを特徴とする定着装置。
【請求項２】
前記定着部材の最外層面温度が１００℃～２５０℃の範囲で前記接触部材の最外層面と接触することを特徴とする請求項１に記載の定着装置。
【請求項３】
前記接触部材の最外層が形成される担体の材料が金属、合金、セラミックス、及び耐熱性樹脂から選択されるいずれか１つであることを特徴とする請求項１又は請求項２に記載の定着装置。
【請求項４】
前記接触部材の最外層が弾性層上に形成されたことを特徴とする請求項１～請求項３のいずれか１項に記載の定着装置。
【請求項５】
前記接触部材が回転体であることを特徴とする請求項１～請求項４のいずれか１項に記載の定着装置。
【請求項６】
前記接触部材内部に加熱源を有することを特徴とする請求項１～請求項５のいずれか１項に記載の定着装置。
【請求項７】
前記接触部材の形状がローラ状又はベルト状であることを特徴とする請求項１～請求項６のいずれか１項に記載の定着装置。
【請求項８】
請求項１～請求項７のいずれか１項に記載の定着装置を備えたことを特徴とする画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
＜７＞前記接触部材の形状がローラ状又はベルト状であることを特徴とする上記＜１＞～＜６＞のいずれか１項に記載の定着装置。
＜８＞上記＜１＞～＜７＞のいずれか１項に記載の定着装置を備えたことを特徴とする画像形成装置。